

図書館通信2月号



平成27年2月3日
松橋中学校図書室

2月3日は節分です。

「鬼は外、福は内」といいながら豆をまく節分は、災いを「鬼」に見立て、豆をまいて追い払います。給食にも節分豆がでましたね。

また、「恵方巻き」といって、その年の縁起がいいとされる方角（恵方）を向いて恵方巻きという太巻き寿司を食べる風習がありますね。一部の地域で行っていたものが、最近では全国的に行われるようになりました。いずれも、一年の無事を祈って行われるものです。

そして、2月4日は立春です。

* * 悩み多き中学生におすすめの本 * *

ランナー あさのあつこ：著

長距離ランナーとして将来を希望された高校一年生の加納碧李は、複雑な境遇の妹を案じ、陸上部を退部することを決意した。だが、それはたった一度のレースに負けただけで走ることが恐怖となってしまった自分への言い訳だった。

逃げたままでは前に進めない。碧李は、再びスタートラインを目指そうとする。

続編「スパイクス」「レーン」も必読です。



14歳からの商い

渡邊美樹&都文館夢学園中学生：著

「あなたの夢はなんですか？」

「将来やりたい仕事は何ですか？」

将来のやりたいことが見つかると、毎日がとても楽しくなります。

この本は、中学生が「働くこと」「仕事」「会社に関すること」、さらには「夢について」の疑問をワタミグループの経営者渡邊美樹社長に直接聞きました。みんなと同じ中学生の疑問がいっぱい詰まっています。これから将来を考える参考になる1冊です。



* * * * *

いのちと心のごはん学

小泉 武夫：著

ご飯を食べることは当たり前のこと。それでは、「なぜご飯を食べるの?」という問いにきちんと答えられますか?

難しいですね。食事は体を作るだけでなく、心も育てているのですよ。これを読めばきっと「食べることの意味」がわかるでしょう。「ごはん学」とは、いわば大人のための食育だそうです。家族で読んで、みんなで食べることを考えてみてはどうでしょうか。



悩んだときに元気が出るスヌーピー

チャールズ・M・シュルツ：作

チャーリー・ブラウンは、「心の相談室」通いがやめられない。通ったからといって、落ち込んだ気分が晴れるわけではない。けれどルーシーに話を聞いてもらおうと、それだけで楽になる。

いつもやきもちしたり、悲観したり、自分に自信のないチャーリー・ブラウンは悩みが尽きません。そんな彼にピーナツの仲間たちは「それがどうしたの?」とアドバイスします。

読むと元気になる一冊です。

まゆみのマーチ 自薦短編集・女子編

重松 清：著

まゆみは歌が大好きな女の子でした。小学校の授業中も歌を口ずさむ娘を、母は決してしかりません。でも、担任の指導がきっかけで、まゆみは学校に通えなくなってしまいます。そのとき母が娘に伝えたことは・・・。

このほか、いじめに巻き込まれた少女の孤独な闘いを描く「ワニとひょうたん池で」などを含む短編集です。短編集ながらもいろいろ考えさせられます。

※自薦短編集・男子編 『卒業ホームラン』もあります。

* 図書館よりお知らせ *

- * 3年生の本の貸し出しは、2月20日（金）まで行います。
- * 1,2年生の本の貸し出しは、3月18日（水）まで行います。
- * 返却期限を過ぎて本を借りている人は、至急返却してください。

